

展開方針 (案)



家庭編

令和3年度「ごみゼロやまがた県民運動」

→ 本県の「1人1日当たりのごみ排出量（令和元年度）」は922gで、少ない方から全国20位（1位：長野県 816g）です。全国一ごみの少ない県を目指し、1人1日当たり100gのごみを減らすよう、各家庭で取り組みましょう。

約100gは、例えば…

- ・キャベツ(大)の葉2枚
- ・きゅうり1本

など

おいしく楽しく食べきりで、食品ロス削減！

家庭から毎日1人当たりお茶碗約半分の量が発生しています。食品ロスを減らすには、**食べ物を大切にしたい本来の気持ち**に立ち返ることが大切です。

- 買い物前は、冷蔵庫や食品庫をチェックし、**必要な分だけ購入**しましょう。
- 賞味期限は**おいしく食べることのできる期限**で、期限を過ぎたからといって、すぐに食べられなくなるわけではありません。できる限り有効利用しましょう。
消費期限は過ぎたら食べない方がよい期限で、必要な分だけ購入し期限内に食べきりましょう。
- 残っている食材から優先して使い、残った料理は、**環境にやさしい料理レシピ**に挑戦して無駄なく活用するなど、おいしく残さず食べきりましょう。
- 食品ロス削減等に取り組む「**もったいない山形協力店**」（小売店・スーパー、旅館など）を積極的に利用し、その取組みを応援しましょう。
- 家庭で余った食品は、未利用食品の有効利用を図る**フードバンク活動団体などへ寄付**をすることで有効に活用できます。



山形県「食品ロス」ホームページ
・環境にやさしい料理レシピ
・もったいない山形協力店
・フードバンク活動団体

プラごみ削減で、美しい河川・海岸を！

- お買い物には**マイバッグ**を持参し、レジ袋の利用を控えましょう。
- 洗剤やシャンプー等は、**詰め替えできる商品**を使いましょう。
- 使い捨てのプラスチック製品（カップ、ストロー等）の利用はできるだけ控え、**水筒やマイボトル**を活用しましょう。



県民運動キャラクター「ごみゼロくん」

最上川流域の河川ごみ

分別徹底で、リサイクル推進！

Carbon Neutral Challenge
～プラごみを減らそう～

- 市町村の紙ごみ回収**に積極的に協力しましょう。
（雑誌・新聞、段ボール、雑紙などの適切な分別で、燃やせるごみが大幅減）
- 買物ついでに、使い終えた牛乳パック、食品トレイ、ペットボトル、古紙などを**スーパー等の店頭回収**に出しましょう。 ※ 店頭回収に出す前に、お店のルール（回収品、注意点等）を確認してください。
- 飲食店のテイクアウト容器は**軽く洗って、分別**して出しましょう。
※ 分別・回収方法は、市町村によって異なります。
- 町内会や子供会**などの資源回収を積極的に利用しましょう。
- 生ごみ（水分が約8割）の**水切り**を徹底して水分を減らし、ごみを軽くしましょう。



生ごみの水切りについて

Carbon Neutral Challenge
～環境を守るのは県民一人ひとり～

ごみゼロやまがた推進県民会議
お問い合わせ 山形県環境工ネルギー部循環型社会推進課 TEL 023-630-2322

展開方針 (案)



職場編

令和3年度「ごみゼロやまがた県民運動」

- 本県の「1人1日当たりのごみ排出量（令和元年度）」は922gで、少ない方から全国20位です。最も少ない長野県の816gより、約100g多い状況です。
- 全国一ごみの少ない県を目指し、まずは1人1日当たり100gごみ（分量例：ミスコピー用紙25枚（A4判）、おにぎり1個）を減らすために、職場全体で積極的に取り組みましょう。
- ESG（環境、社会、企業統治）に配慮している企業が重視・選択される時代となっています。企業が持続的に成長し続けるためにもESGを考慮した企業活動が重要です。

適切な分別で、プラごみ・紙ごみの削減！

リデュース（ごみを出さない）

- 事務用品等の在庫管理を徹底し、**休眠物品**を使いましょう。
- インクなどが**交換・補充**できるボールペン等を購入しましょう。
- 紙の使用は最小限に（PC画面の確認で印刷省略など）。

リユース（繰り返し使う）

- マイボトル・マイカップ**（水筒、タンブラー、マグカップ等）や**マイ箸**を使用しましょう。

リサイクル（再生利用する）

- プラスチック廃棄物（ペットボトル、食品等付着のない容器包装〔テイクアウト容器は軽く洗って〕等）の**適切な分別**を徹底しましょう。
- 紙ごみは**資源回収**に出しましょう。



酒田市飛島の海岸での漂着ごみ

Carbon Neutral Challenge

～プラごみを減らそう～

環境配慮製品の優先購入！

- エコマーク商品**や**山形県リサイクル認定製品**を優先して購入しましょう。



エコマーク



山形県リサイクル製品認定マーク

《 出前講座の案内 》

ごみの減量、食品ロス削減などの社内研修等でご活用ください。

《お問い合わせ先》
県環境科学研究センター
TEL 0237-52-3132



おいしく残さず食べきりで食品ロス削減！

- 職場の懇親会では、**3010運動**（開始後30分、お開き前10分は席を立たず料理を楽しんで食べきる運動）などにより、おいしく残さず食べきりましょう。食べきれない場合は、お店の方に確認して、**自宅に持ち帰り**ましょう。
- 食品ロス削減等に取り組む「**もったいない山形協力店**」（飲食店、旅館など）を積極的に利用し、その取組みを応援しましょう。
- 家庭で余った食品は、未利用食品の有効利用を図る**フードバンク活動団体**などへ**寄付**をすることで有効に活用できます。



山形県「食品ロス」ホームページ
・外食時の食べきり運動
・もったいない山形協力店
・フードバンク活動団体

Carbon Neutral Challenge

～環境を守るのは県民一人ひとり～

ごみゼロやまがた推進県民会議

お問い合わせ 山形県環境工ネルギー一部循環型社会推進課 TEL 023-630-2322